

ぐんま 広報

県対人口 : 1,939,702人
人前月 : -831人
男女 : 958,972人
女 : 980,730人
世帯数 : 804,640世帯
(県移動人口調査: 令和元年7月1日現在)

No.364
2019 9



ブドウ狩り(榛東村他)

発行: 群馬県広報課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎ 027-226-2162 FAX 027-243-3600
県ホームページ <https://www.pref.gunma.jp/> ※右図から読み取れます



県内の味覚狩り体験の情報をお知らせしています。「ググっとぐんま公式サイト」(ググっとぐんま観光宣伝推進協議会ホームページ) <https://gunma-dc.net/>



初登庁後、知事室で意気込みを述べる山本知事



登庁セレモニーで祝福を受ける



初の記者会見に臨む



甲子園出場を決めた前橋育英高校ナインを激励

山本県政が始動

「県民の幸福度」向上と「新たなプライド」の醸成
群馬の魅力の世界に発信

7月21日の群馬県知事選挙で初当選を果たした山本一太知事は、同月29日に多くの関係者や県議会議員、職員などが拍手で迎える中、初登庁しました。
登庁セレモニーの後、職員に向けて「同じやり方の踏襲だけでは、激しく変化する社会の中で群馬県は浮上できない。県民の力を結集するため知恵を絞り、現場主義、当事者意識、積極的な姿勢、明確な目的意識を持って仕事に当たって欲しい」と訓示を行いました。

県民の皆さまへ山本一太知事からのメッセージ

現場で汗をかくプレーヤーの代表として、生まれ育った群馬県のために全力で働かせていただく覚悟です。県の経済活性化を目標に掲げるのは当然のことですが、もっと大切なのは「県民の幸福度」を向上させることです。そのためには、医療・福祉・介護などの社会保障や教育・子育て環境を少しでも充実させ、県土強靱化や基幹道路の整備などを含む「安心を支える社会基盤」を構築することが不可欠です。

また県民の「新たなプライド」を醸成することも重要です。群馬県は豊かな観光資源やバランスの良い住環境など魅力にあふれていますが、その潜在力に見合った評価を得ているとは言い難い状況です。多くの県民が感じている停滞感を、知事の精力的なトップセールスで果敢に打ち破っていきます。

県民の幸福度、故郷への愛情、自慢度を高めることで、人口の流出に歯止めをかけ、住みたいと思う故郷を創生できると確信しています。私のスローガンは「世界で1人しかない知事になって、群馬県を世界中に発信する」です。群馬県の主役は一人一人の県民の皆さんです。力を合わせてワクワクするような新しい群馬県を創っていきましょう。

山本一太知事プロフィール

昭和33年1月24日、草津町生まれ。県立渋川高等学校、中央大学法学部を卒業後、米国ジョージタウン大学大学院修士課程を修了。国際協力事業団(JICA)などへの勤務を経て、平成7年に群馬選出の参議院議員として当選後、4期約24年の間に内閣府特命担当大臣、参議院予算委員長などを歴任し、令和元年に群馬県知事に初当選。趣味は音楽活動。座右の銘は「直滑降」。

特集

知ろう、考えよう、認知症

9月は認知症理解促進月間です

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加が見込まれています。認知症は、高齢になれば誰でも発症する可能性がある身近な問題で、決して人ごとではありません。認知症の人の多くは地域で暮らしているため、家族だけではなく社会全体の正しい理解と優しい見守りが必要です。



認知症への理解を深める県民運動
認知症サポーターの養成支援、認知症普及啓発活動など

認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせる体制整備の推進



地域支援体制の構築

県認知症高齢者等SOSネットワーク、認知症カフェの設置推進など



早期診断・適切な医療の提供 および相談体制の充実

認知症相談窓口の設置、認知症疾患医療センター設置運営など



本人・家族支援

家族会への支援、本人ミーティング



若年性認知症施策

若年性認知症支援コーディネーター設置など

高齢化と認知症

認知症とは、脳がさまざまな原因でダメージを受け、認知機能が低下して起こる生活上の支障が、およそ6カ月以上続いている状態を指します。認知症は高齢になるにつれて発症しやすくなるため、高齢化の進展に伴ってさらに増えることが予想されています。2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が発症すると推計されており、いずれは誰もが認知症になったり、認知症の人と関わったりする可能性があります。私たちは人ごととして無関心であるのではなく「自分の問題である」という認識を持つことが大切です。

暮らしやすい地域にするために

認知症の人をサポートするためには、症状に応じた適時・適切な医療・介護サービスの提供と相談体制の充実などが重要です。県では「認知症の人とその家族が地域で安心して暮らせる体制整備の推進」のための施策を行っています。

認知症の人やその家族が暮らしやすい社会にするためには、当事者だけでなく、地域全体が認知症について正しく理解し、見守ることが必要です。認知症に関する正しい知識を身に付け、認知症カフェなどに参加して認知症の人やその家族と交流を持つことが、理解を深めるきっかけになります。認知症についてよく知らない人も、地域の一員としてできることから始めてみましょう。

認知症の人に必要に対応や、地域で支える取り組みを紹介します。

◆認知症の症状とは

○認知機能が低下して起こる症状（中核症状）
時間・場所・人物などが分からなくなる見当識障害、記憶障害、理解力・判断力の障害、計画を立てたり段取りができなくなる実行機能障害など

→治りにくいが、進行を遅らせることができる場合も

○中核症状が基になって現れる症状

不安・焦燥、うつ状態、幻覚・妄想、徘徊、興奮・暴力、不潔行為など

→社会的環境により改善できる可能性も

◆認知症の人と接するときには

- ・まずは見守る
- ・余裕を持って対応する
- ・声を掛けるときは1人で
- ・後ろから声を掛けない
- ・優しい口調で
- ・穏やかに、はっきりした話し方で
- ・相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症を理解する

前橋市の認知症初期集中支援チームリーダーとして認知症の人とその家族を支援してきた、群馬医療福祉大学の山口教授にお話を伺いました。



やまぐちともひろ 山口智晴さん

「認知症初期集中支援チームは、主に高齢者の相談窓口である『地域包括支援センター』からの依頼で活動します。医師の他、医療・介護の専門職で構成され、認知症が疑われる人や、認知症の人とその家族を訪ねます。そして生活の困り事を丁寧に確認してその原因と解決方法を一緒に考え、適切な医療に結びつくように支援することで、本人や家族の不安の軽減を図ります。」

認知症の人は認知機能が低下し、生活動作や周囲の人との関係性に支障が出ます。認知機能障害は目に見えにくいので、周囲が困惑することも多いです。そのため、例えば足を骨折している人に「急いで」とは言わないのに、忘れっぽい人には「さっき言ったでしょ」と言ってしまうことがよくあります。

一方で、認知症の人さまざまな不便さや不安を常に感じています。周囲の人は不安が軽減するように関わることが大切です。それは結果的に、認知症の症状緩和やお互いの穏やかな生活につながります。認知症に関する不安や専門医療の受診希望がある人は、早めに近くの相談窓口を利用してください。

認知症だからといって特別な対応をするのではなく、優先席で席を譲るような、相手への思いやりが大切です。『自分が認知症になってもお互いさまた社会』『尊重し合える社会』にしていけるといいですね」

認知症の人を支える

「認知症の人やその家族を地域で支える交流の場」を提供している三俣さんにお話を伺いました。



みつまたかずや 三俣和哉さん

「前橋市内で運営しているグループホームの一部を月1回開放し『Dカフェみつまた』を開催しています。ここでは飲食物の提供やゲーム、野菜の即売、薬剤師によるお薬相談などを行っています。認知症の人だけでなく、地域の子どもたちや大人も参加して、世代を超えた交流を楽しんでいます。

現在『認知症カフェ』という名前

認知症の人・家族を支援するカフェへ行こう

認知症の人とその家族、地域住民など誰でも自由に参加できる集いの場は、地域によって「オレンジカフェ」などと呼ばれています。自由に話をしたり、認知症に関する情報交換をしたりできる他、専門職が介護相談に応じる所もあります。



現在県内各市町村で開催されていますので、気軽にお立ち寄りください。詳しくは近くの**地域包括支援センター**（URL下記）にお問い合わせください。



「Dカフェみつまた」に集まった幅広い年代の人たち

このような活動が全国に広がっていますが、認知症でなければ行っていないのではないのでは、という誤解を生むため、「Dカフェ」と呼ぶ、建物も内装を明るくするなど居心地が良くなるように工夫しています。カフェとは別に、地域に認知症の人が住んでいることを知ってもらったためのイベント『RUN伴+ぐんま』を開催しています。県内各地からスタートし、1本のたすきをゴールの県庁までつないで走ります。参加者は認知症の人だけでなく施設の職員や利用者、認知症の人が暮らす地域の人もです。

このような活動を通して、認知症の人が皆さんの近くに住んでいるということを知ってほしいです。はだしで外を歩いている人や、夜中にパジャマ姿で出歩いている人がいたら、勇気を出して声を掛けてもらうことで、行方不明の人が見つかることもあります。また皆さんも機会があれば、近くのカフェに参加してみてください。

◆認知症の相談窓口をご利用ください

○認知症について相談したい、介護予防サービスや介護保険サービスを利用したい

→地域の高齢者の総合相談窓口である**地域包括支援センター**にご相談ください。詳しくは県ホームページ (<https://www.pref.gunma.jp/02/d2310055.html>) をご覧ください。



※右図から読み取れます

○物忘れが気になる、診察をしてほしい

→まずは**かかりつけ医**に相談しましょう。また下記**認知症疾患医療センター**では、認知症疾患に関する鑑別診断、専門医療相談などを実施しています。

医療機関名	電話番号
1 群馬大学医学部付属病院（前橋市）	027-220-8047
2 上毛病院（前橋市）*	027-266-1814
3 老年病研究所付属病院（前橋市）*	027-252-7811
4 サンピエール病院（高崎市）*	027-347-4477
5 田中病院（吉岡町）*	0279-54-5560
6 篠塚病院（藤岡市）*	0274-20-1103
7 西毛病院（富岡市）*	0274-63-8120
8 吾妻脳神経外科循環器科（東吾妻町）*	0279-68-5211
9 内田病院（沼田市）*	0278-24-5329
10 原病院（伊勢崎市）*	0270-74-0633
11 美原記念病院（伊勢崎市）*	0270-20-1700
12 東毛敬愛病院（太田市）	0276-26-1794
13 つつじメンタルホスピタル（館林市）*	0276-57-6366

*印の認知症疾患医療センターでは、若年性認知症（注）を支援するコーディネーターが配置されています

（注）若年性認知症について

65歳未満で認知症の症状が現れることを「若年性認知症」といいます。働き盛りで家庭を支える年代の患者が多く、経済的な問題や家族の身体的・精神的負担が大きいためといわれています

○認知症について不安がある、認知症の人の介護経験がある家族に話を聞いてほしい

→「**認知症の人と家族のための電話相談**」

相談日・時間 月～金曜日（祝日を除く）午前10時～午後3時

相談先 ☎027-289-2740

◆認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターとは

各市町村にいるキャラバン・メイトが実施する認知症サポーター養成講座を受講・修了した人のことです。

サポーターは認知症に関する正しい知識を持ち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。6月30日現在、県内で約14万人が養成講座を受講しています。

養成講座は県内各地で開催しており、修了者にはサポーターの証であるオレンジリングを渡しています。開催日時など詳しくは、お近くの**地域包括支援センター**（URL左記）にお問い合わせください。



◆認知症に関する講演会のお知らせ

日程 9月29日（日）

時間 午後1時30分～3時30分（受け付けは1時から）

場所 群馬会館（前橋市大手町）

演題 認知症とともに笑顔で生きる

講師 丹野智文（ご本人のためのもの忘れ総合相談窓口「おれんじドア」代表・若年性認知症当事者）

定員 400人（先着順）

申込期限 9月18日（水）

申し込み方法 はがきまたはファクス。参加者全員の氏名・職業・認知症患者本人（家族）または支援者の別、代表者の住所・電話番号・Eメールアドレスを記載してください

その他 自動車でお越しの場合は、県庁県民駐車場（前橋市大手町）をご利用ください

申し込み・問い合わせ先 県庁地域包括ケア推進室（〒371-8570 ☎下記 FAX027-243-2044）

インフォメーション INFORMATION

○問い合わせの際は、番号を間違えないようにお願いします
 ○HPはぐんま広報ホームページ版(https://www.pref.gunma.a.jp/cate_list/ct00001205.html)をご覧ください
 ○ファクスによる問い合わせは、県庁広報課(027-243-3600)へ



- 凡例**
- 日 日程・時間
 - 休 休館日
 - 所 場所
 - 内 内容
 - 対 対象・資格
 - 料 費用
 - 他 その他
 - 申 申込先
 - 問 問い合わせ先
 - 定 定員(因 先着 抽 抽選 選 選考)
 - 受 受付・申込期間(因 必着 消 消印有効)

- 申し込み方法など**
- 直 直接・持参
 - 郵 郵送
 - 電 電話
 - E Eメール
 - F ファクス
 - 〒 郵便番号
 - フ フリーダイヤル
 - シ 電子申請受付システム(<https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/>)

元気県ぐんま21推進月間

全ての県民が心身ともに健康で、生涯を通じて生き生きと豊かに暮らせるよう、9月を「元気県ぐんま21推進月間」としています。

県では、県民の健康づくりにとって大切な生活習慣の実践事項である「ぐんま元気(GENKI)の5か条」を推進しています。皆さんも「ぐんま元気の5か条」に取り組んでみませんか。

「ぐんま元気(GENKI)の5か条」

- ・第1条 げんき(元気)に動いて ぐっすり睡眠
- ・第2条 えんぶん(塩分)ひかえて 食事はバランスよく
- ・第3条 なかま(仲間)をつくって 健康づくり
- ・第4条 きんえん(禁煙)めざして お酒は適度に
- ・第5条 いいは(歯)を保って いつも笑顔

他 歩くことを楽しむための「ぐんま元気アプリ」を公開し、12月31日(火)まで「ビンゴチャレンジ」を開催中です。詳しくはHPをご覧ください

問 県庁保健予防課(☎027-226-2604)、県保健福祉事務所

自動車税が変わります

10月1日から、毎年4月1日に自動車所有している人に課税される自動車税や自動車の購入時に課税される自動車取得税の制度が変わります。

自動車税(種別割)の税率引下げ

- ・自動車の排気量などに応じて毎年かかる「自動車税」は「自動車税(種別割)」に名称が変更されます
- ・令和元年10月1日以降に初回新規登録を受けた自家用の乗用車(登録車)から、自動車税(種別割)の税率が引き下げられます

自動車取得税の廃止と環境性能割の導入

- ・自動車取得税が廃止され、環境性能割が導入されます
- ・環境性能割の税率は、自動車の燃費性能などに応じて、自動車の取得価額に対し、自家用の登録車は0~3%、営業用の登録車と軽自動車は0~2%です
- ・環境性能割は、新車・中古車を問わず対象となります

問 県庁税務課(☎027-226-2198)

県議会「第3回前期定例会」

9月18日(水)に開会し、本会議と委員会は、どなたでも簡単な手続きで傍聴できます。

日・議事予定

日程	議事予定	日程	議事予定
9月	18日(水) 本会議(開会・提案説明)	10月	4日(金) 特別委員会
	24日(火) 本会議(質疑および一般質問)		9日(水) 本会議(委員長報告・議決・決算提案説明)
	25日(水) 本会議(質疑および一般質問)		15日(火) 決算特別委員会(分科会)
	27日(金) 本会議(質疑および一般質問)		16日(水) 決算特別委員会(分科会)
10月	1日(火) 常任委員会	25日(金) 決算特別委員会(総括質疑・採決)	
	2日(水) 常任委員会	30日(水) 本会議(決算委員長報告・議決)	

開会時刻 午前10時(予定) **料** 無料

申し込み方法 当日、会場に直

他 本会議と決算特別委員会の総括質疑・採決は、県議会HP(<http://www.gunma-pref.stream.jfit.co.jp/>)でご覧になれます。また本会議の質疑および一般質問は、群馬テレビでも生中継します

問 県議会事務局政策広報課(☎027-897-2892)

花と緑のぐんまづくりinみなかみ ~ふるさとキラキラフェスティバル~

日 9月23日(月)まで

所

- ・メイン会場…たくみの里(みなかみ町須川)
- ・サテライト会場…道の駅「水紀行館」(みなかみ町湯原)、道の駅「矢瀬親水公園」(みなかみ町月夜野)



内 秋ソバの花と黄金色の稲穂が広がるメイン会場では、秋の収穫などをイメージした花壇が見られます。花と緑のコンテスト、スタンプラリー、フォトコンテストなどを開催中です。週末・祝日には、各種ステージイベントを実施します

料 無料 **他** 詳しくは、花と緑のぐんまづくりホームページ(HP参照)をご覧ください

問 県庁都市計画課(☎027-226-3543)、みなかみ町工コパーク推進課(☎0278-25-5029)

あなたの周りのブロック塀は安全ですか？

8月30日から9月5日は防災週間です。地震時にブロック塀が倒壊すると、その下敷きになり死傷者が出たり、道路をふさぎ、避難や救助活動の妨げになります。

建築基準法に適合しない、または破損・老朽化したブロック塀は、地震時に倒壊する恐れがありますので、所有するブロック塀を自己点検してください。

自己点検について

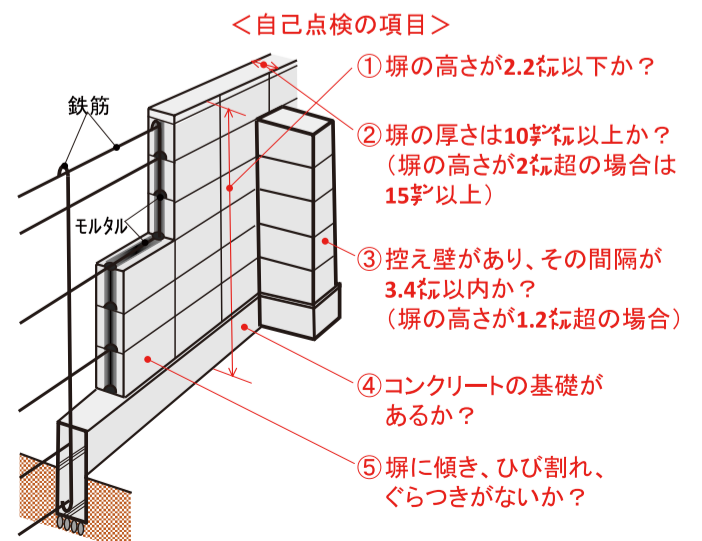
右図の①~⑤の項目を自己点検してください。1つでも不適合がある場合や、分からないことがあれば、建築士などの専門家へ相談してください。倒壊する恐れがあると判断された場合は、撤去するなどの改善をしてください

県内の補助制度

道路沿いの倒壊する恐れがあるブロック塀の撤去などに対し、高崎市、桐生市、館林市、渋川市、大泉町が補助制度を設けています

※詳しくは市役所・町役場にお問い合わせください

問 県庁建築課(☎027-226-3708)





お知らせ

秋の全国交通安全運動

交通ルールの順守と正しい交通マナーの実践により交通事故を防止するため「秋の全国交通安全運動」を実施します。

● 9月21日～30日

スローガン その車間 心のせまさが 見えます

サブスローガン シートベルト ませもうしろも カチッとね

運動重点

- ・子どもと高齢者の安全な通行の確保
- ・高齢運転者の交通事故防止
- ・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶

● 県警察本部交通企画課(☎027・243・0110内線5042)

県有施設などの使用料や手数料を改定します

消費税法および地方税法の改正により、10月1日から消費税および地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられます。

これに伴い、県有施設などの使用料や検査手数料などを改定します。改定する使用料など HPで確認するか、担当課や各施設などに直接お問い合わせください

● 県庁財政課(☎027・226・2094)

野生キノコの安全確認について

山野に自生しているキノコは放射性物質の影響を受けやすいといわれており、基準値超過により、現在も県内7市町村で出荷制限が要請されています。

自家消費する場合 食品の基準値である1kg当たり100ベクレルを超える放射性物質を含んだものを食べないよう注意してください。市町村によっては自家消費を目的とした食品検査を実施していますので確認してください

流通・販売を目的に採取する場合

必ず出荷単位ごとに放射性物質の検査をし、基準値以下であることを確認してから出荷してください。出荷制限などが要請されている地域で採取されたものは、放射性物質が基準値以下であっても流通・販売はできません

● 県内の出荷制限、出荷自粛などの状況はHPで確認できます

● 野生キノコには有毒なものがあります。知らないキノコは採ったり、食べたりしないでください

● 県庁林業振興課(☎027・226・3236)

プレミアム付商品券を市町村が販売します

10月1日の消費税および地方消費税の税率引き上げによる、住民税非課税の人・乳幼児のいる子育て世帯の消費に与える影響を緩和することにも、地域における消費を喚起・下支えすることを目的に、25%お得なプレミアム付商品券を住所地の市町村が販売します。

● 住民税非課税の人(課税者の扶養親族になつていない人などは除く)

● 平成28年4月2日～令和元年9月30日までに生まれた子のいる世帯の世帯主

● 住民税非課税の人には、購入引換券交付申請書が、子育て世帯には購入引換券が郵送されます

● 申請期間(住民税非課税の人のみ) 11月頃まで

● 使用期間 おおむね10月～2年3月頃
● 他 申請期間や使用期間などは、市

町村によって異なります。詳しくは住所地の市町村にお問い合わせください

● 県庁市町村課(☎027・226・2221)

2・3年度の競争入札に参加を希望する事業者の資格申請を受け付けます

ぐんま電子入札共同システムの共同利用参加団体では、団体ごとに2・3年度の入札参加資格者名簿を作成します。

● 競争入札に参加を希望する事業者は、申請情報を登録してください。

● 参加団体の競争入札に参加を希望する事業者

● 平成30・31年度の入札参加資格者名簿に登録されている事業者を含みます

● 物品・役務: 10月1日(火)～31日(木)
● 建設コンサル: 12月2日(月)～20日(金)
● 建設工事: 2年1月7日(火)～28日(火)

※いずれもHP
● 申し込み方法 ぐんま電子入札共同システムに登録の上、郵

● システムの稼働時間は月～金曜日午前9時～午後7時(祝日を除く)

● ※詳しくは「ぐんま電子入札共同システムポータルサイト」(HP参照)をご覧ください

● 申請先 県庁建設企画課内 〒371-8570 ☎027・226・3533

県立図書館の休館

県立図書館は、秋季特別整理のため、次のとおり休館します。この特別整理では、蔵書点検および資料整理・館内施設整備など、開館中にできない作業を実施します。

● 10月1日(火)～4日(金)

● 県立図書館(☎027・231・3008)

高等学校などの生徒を対象とした奨学のための給付金

高等学校や専修学校(高等課程)などの授業料以外の教育費負担を軽減するため、返還が不要な給付金を給付します。

● 次の全てに該当する世帯

● 市町村民税所得割額および県民税所得割額が非課税または生活保護制度のうち生業扶助を受給している

● 保護者や親権者が県内に在住している

● 生徒が平成26年4月1日以降に就学支援金の支給対象校に入学し、令和元年7月1日現在在籍している(休学中を除く)

● 申し込み方法 所定の申込用紙

● ※県内の高等学校などに在籍する場合は、別途学校長が指定する期限までに、学校を経由して提出

● ※県外の高等学校などに在籍する場合は、申込先に直接提出

● 申込用紙入手先 HP

● 国公立学校在籍の場合: 県庁管理課(☎027・226・4543)

● 私立学校在籍の場合: 県庁学事法制課(☎027・226・2142)

募集

「グッドデザインぐんま」商品

県内の企業が製造または販売する商品で、デザインに優れたものを「グッドデザインぐんま商品」として選定します。選定された商品は、選定商品カタログや県ホームページへの掲載、商品展示会での展示を行う他、グッドデザインぐんまのシンボルマークを使用できます。

● 県内でデザインされた工業製品、クラフト製品または製品パッケージで、県内で製造または9月30日

(月)までに県内で販売されているもの
● 応募資格 応募商品の製造業者または販売業者

● ※販売業者が応募する場合は、自社開発商品または製造業者の応募承認を得たものに限り

● 9月30日(月)まで

● 応募方法 所定の応募用紙

● 他 詳しくはHPをご覧ください
● お問い合わせください

● 県庁工業振興課(☎027・226・3358)

スクールカウンセラー

いじめや不登校など、学校生活における児童・生徒の心理的な問題の解決に役立てることを目的に、県内の公立小・中学校、中等教育学校および県立高等学校に配置するスクールカウンセラーを募集します。

● 勤務期間 2年4月1日(水)～3年3月5日(金)

● 応募資格 2年4月1日現在、69歳以下で心身ともに健康な、次のいずれかに該当する人

- ・ 公認心理師または臨床心理士
- ・ 精神科医
- ・ 児童・生徒の心理に関して高度に専門的な知識および経験があり、学校教育法第1条に規定する大学の学長、副学長、学部長、教授、准教授、常勤講師、助教の職にある、またはあった
- ・ 大学院修士課程を修了し、1年以上の心理臨床業務または児童・生徒を対象とした相談業務の経験がある
- ・ 大学または短期大学を卒業し、5年以上の心理臨床業務または児童・生徒を対象とした相談業務の経験がある

● 医師で、1年以上の心理業務または児童・生徒対象の相談業務経験がある

● 選考方法 書類選考、面接

● 10月1日(火)～15日(火)まで

● 申し込み方法 所定の申込用紙

心臓血管センター心臓病予防ヘルスアップ教室(いなほコース)

10月1日(火)～12月27日(金)の火または金曜日(全12回) 午後1時～4時

● 県立心臓血管センター(前橋市亀泉町)

● 医師や健康運動指導士、管理栄養士、薬剤師などの医療スタッフによる健康教室です。1時間の講義と2時間の運動実習を実施します

● メタボリック症候群が気になる20歳以上の人

● 15人以内

● 3万5千円(医師の問診、運動負荷テスト、血液検査料、運動指導料など)

● 9月10日(火)まで

● 申し込み方法 ☎またはF。住所、氏名、生年月日、電話番号をお知らせください

● 県立心臓血管センター(☎027・269・7455 F027・269・1492)

試験

県立産業技術専門学校推薦試験

試験日 10月11日(金)

● 各12人

● 願書受付期間 10月1日(火)～4日(金) 午後5時15分迄

● 募集科
・ 県立前橋産業技術専門学校: 生産技術科、電気技術科、CAD技術科、テクニカル金属科

・ 県立高崎産業技術専門学校: メタル技術科、機械技術科、住まいづくり科、塗装システム科、自動車整備科

・県立太田産業技術専門学校：機械システム科、電気システム科、自動車整備科、CADシステム科、溶接クラフト科
受験資格 次の全てに該当する人
・高等学校（県立高崎産業技術専門学校の自動車整備科は中学校）を2年3月に卒業見込みの人などで、調査書の全体の評定平均値が3.0以上かつ進路希望先の第1位である
・在籍する学校長から推薦された
出願書類 入校願書、入校推薦書、進学用調査書

出願先・問
・県立前橋産業技術専門学校（前橋市石関町） ☎027・230・2211
・県立高崎産業技術専門学校（高崎市山名町） ☎027・320・2221
・県立太田産業技術専門学校（太田市新野町） ☎0276・31・1776

催し

県ぶどう品評会

日 9月5日(木) 午前10時～午後3時
所 県庁（前橋市大手町）
内 県内で生産されたブドウの秀作の展示・販売、生産者による直売
・生産者による直売：10時から商品終了まで
・展示品の一般公開：正午から3時まで
・展示品の販売：3時から販売品終了まで
¥ 無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 県庁畜系園芸課（☎027・226・3136）

里親制度説明会

知っているようで知らない里親制度について、知りたい人ややりたい人向けに説明会を開催します。
対 里親制度に興味がある人

日・所
・9月6日(金) 午後1時～4時 玉村町役場（玉村町下新田）
・9月20日(金) 午後1時～4時 伊勢崎市役所（伊勢崎市今泉町）
・9月27日(金) 午後1時～4時 前橋市保健センター（前橋市朝日町）

¥ 無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 県庁児童福祉課（☎027・226・2628）

県総合防災訓練

8月30日から9月5日までの防災週間にちなみ、県と富岡市では、県民の防災意識の高揚と防災関係機関など相互の連携強化を図るため、自衛隊・警察・消防・民間事業者や自主防災組織・ボランティアなどと協力して、総合防災訓練を実施します。
日 9月7日(土) 午前8時～午後1時
所 富岡市北部運動公園（富岡市上黒石）
内 震災・山林火災やテロ対策訓練
・防災などに関する展示や各種イベント
・地震・大雨などの自然災害を体験できる車両を使った体験型訓練
¥ 無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 県庁危機管理室（☎027・226・2244）



昨年度の総合防災訓練の様子

「救急の日」記念講演会

日 9月9日(月) 午後2時30分～4時
所 県公社総合ビル（前橋市大渡町）

内 9月9日の「救急の日」を含む1週間は「救急医療週間」です。これにちなみ、講演会を開催します
演題・講師
・群馬県の小児救急医療の今までとこれから／松井敦（前橋赤十字病院小児科部長）
・脳卒中の警告サイン、すぐに救急車を！ 小島好広（館林地区消防組合消防本部消防司令補）
定 200人(先)
¥ 無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 県庁医務課（☎027・226・2534）

群馬ナイスハートフェア

日 9月10日(火)～12日(木) 午前9時～午後5時
※10日は1時から、12日は3時まで
所 県庁（前橋市大手町）
内 知的障害児者施設・事業所で製作されている陶芸品・絵画・木工・布製品などの手工芸品、無添加のパンや加工食品などを展示・販売します
¥ 無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 県庁障害政策課（☎027・226・2632）



ぐんまベトナム交流祭

本県とベトナムとの交流を紹介するとともに、ベトナムの食や文化を体験できるイベントです。
日 10月4日(金) 午前11時～午後6時
・5日(土) 午前10時～午後4時
所 県庁（前橋市大手町）

¥ 無料
申し込み方法 当日、会場に直
他 当日は混雑が予想されるため、公共交通機関をご利用ください
問 県庁外国人活躍推進課（☎027・226・3394）

収穫感謝祭

日 10月5日(土)、6日(日) 午前9時30分～午後3時
所 JABIL（前橋市亀里町）
内 県産農林水産物や加工品、伝統工芸品などの展示・即売の他、音楽コンサート、郷土芸能の上演、野菜の抽選会など
¥ 無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 県庁ぐんまブランド推進課（☎027・226・3129）



恒例のキャベツの抱え取り

ぐんま酒と食の祭典「KA NPAI! GUNMA」

日 10月5日(土)、6日(日) 午前10時～午後5時
※6日は4時まで
所 ビエント高崎（高崎市問屋町）
内 群馬の地酒やクラフトビール、ワインの飲み比べができる他、地域の地場産食品や名物料理を味わうことができます
¥ 無料
※酒の試飲はチケットの購入が必要（前売り券11500円、当日券12千円）
申し込み方法 当日、会場に直
問 県庁工業振興課（☎027・226・3358）

ぐんま一番 毎週金曜日 午後7時30分
群馬テレビ (再放送) 日曜日 午前9時30分
群馬の宣伝部長ぐんまちゃん、宣伝部員のタイムマシーン3号と女性部員が県内各地を巡り、知る人ぞ知る地域の魅力を、群馬県の魅力として県内外に紹介します。
〈放送予定〉 9月6日/世界が認めた Minakami
9月13日/昔なつかし 中之条めぐり
9月20日/総集編②
10月4日/榛東村・吉岡町
問 県庁広報課 ☎027-226-2167

県政の話題を写真で紹介
ぐんま 2019 SEP 9
特集 **山本新知事就任**
県政の話題 **上皇皇后両陛下ご来県**
9月10日(火)発売予定 定価360円(税込み)
販売場所: 県庁県民センター、県内取扱書店
問 県庁広報課 ☎027-226-2162

群馬ダイヤモンドペガサス試合情報

日程	開始時刻	会場	対戦相手
9月1日(日)	午後1時	桐生球場	茨城アストロプラネッツ
9月8日(日)			新潟アルビレックスBC

入場料 全席自由(当日券だけ) 一般=1,500円、小・中学生=500円 ※小学生未満は無料
問 群馬ダイヤモンドペガサス ☎027-386-6088 HP http://d-pegasus.com/

群馬クレインサンダーズ試合情報

日程	開始時刻	対戦相手
9月21日(土)	午後5時	仙台89ERS
9月22日(日)	午後1時	
10月4日(金)	午後7時	茨城ロポッツ
10月5日(土)	午後2時	

会場 ヤマト市民体育館前橋(前橋市上佐島町)
入場料 席種などにより異なります。詳しくはお問い合わせください
入場券購入先 群馬クレインサンダーズホームページ
問 群馬プロバスケットボールコミッション ☎027-289-9562 HP https://g-crane-thunders.jp/

ガスパクサツ群馬試合情報

日程	開始時刻	対戦相手
9月28日(土)	午後3時	アスルクラロ沼津
10月5日(土)	午後2時	藤枝MYFC

会場 正田醤油スタジアム群馬(前橋市敷島町)
入場料 指定席=2,900円 ※自由席は席種などにより異なります。詳しくはお問い合わせください
入場券販売場所 ペイシアワールドスポーツ西部モール店(伊勢崎市宮子町)・前橋みなみモール店(前橋市新堀町)など
問 ガスパクサツ群馬 ☎027-225-2350 HP https://www.thespa.co.jp/

群馬交響楽団定期演奏会情報

期日 10月26日(土) 開演時刻 午後6時45分(6時開場)
会場 高崎芸術劇場(高崎市栄町)
内容 指揮:アレクサンドル・ラザレス 曲目:グラスノフ/パレ音楽(四季)作品67、プロコフィエフ/パレ音楽(ロメオとジュリエット)作品64より【ラザレフ版】
入場料 SS席=6,500円、S席=5,500円、A席=5,000円、B席=4,000円、C席=3,000円
入場券販売場所 群馬音楽センター、チケットぴあ、群馬交響楽団事務局(高崎市高松町)など
問 群馬交響楽団事務局 ※9月中旬に高崎芸術劇場内に移転予定 ☎027-322-4316 HP http://www.gunkyo.com/

チケットプレゼント クロスワードパズルの正解者の中から抽選で、ガスパクサツ群馬(10月27日カタール富山戦)、群馬クレインサンダーズ(今シーズンホームゲーム共通)、群馬交響楽団定期演奏会(11月23日)のチケット(2枚組み)をそれぞれ5人にプレゼントします。詳しくは8ページをご覧ください



美術館・博物館 などの催し

*印の施設では、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者(1人)は無料です。証明できるものをお持ちください

ぐんま昆虫の森季節展「秋の野山の昆虫展」*

日 10月28日(月)まで 午前9時30分～午後5時(入園は4時30分まで)
休 月曜日(9月16日、23日、10月14日、28日を除く)、9月17日、24日、10月15日(いずれも火曜日)
所 県立ぐんま昆虫の森(桐生市新里町)

内 秋の野山で見られるバッタやトンボなどの昆虫について、標本展示やパネルで紹介します。また実際に虫の鳴き声を聞いたり、観察したりできます

入園料 一般1140円、大学・高校生1200円、中学生以下1100円
問 0277・74・6441

日本絹の里企画展「ちりめん創作人形展」* 「絹彩ワンダランド」*



竹本 京「秋の味覚」

日 9月5日(木)～11月4日(月) 午前9時30分～午後5時
休 火曜日(10月22日を除く)、10月23日(水)

所 県立日本絹の里(高崎市平古町) ちりめんや着物の古きれを使用し、日常の風景をテーマにした人形

を制作している高崎市在住の人形作家・竹本京の作品を中心とした展覧会です。色鮮やかな絹を使用し、伝統的な日本の四季を表現したかわいらしい人形を展示します

観覧料 一般1400円、大学・高校生1250円、中学生以下1100円
問 027・360・6300

自然史博物館サイエンス・サタデー「よく飛ぶ紙とんぼをつくらう」

日 9月7日、14日、21日、28日(いずれも土曜日) 午後2時～3時(受け付けは1時30分から)
所 県立自然史博物館(富岡市上黒石)
内 トンボについて学んだ後、紙とんぼを制作し、中庭で飛ばします
講師 当館職員、ボランティア
対 小学生以上の人

*小学生3年生以下は保護者の付き添いが必要
定 各30人宛
料 無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 0274・60・1200



制作する紙とんぼ

カネコ種苗ぐんまフラワーパーク「花と暮らした昭和」* 「平成」*

日 9月14日(土)～23日(月) 午前9時～午後5時(入園は4時30分まで)
所 カネコ種苗ぐんまフラワーパーク(前橋市柏倉町)
内 敬老の日に合わせて、昭和から平成を家族3世代で振り返ることがで

きる懐かしく楽しい企画展示です。期間中、レストランでは昭和の学校給食を再現したメニューを提供する他、グラウンド・ゴルフ大会、寄せ植え教室、企画展示を行います。またコスモスやセンニチコウ、ダリアが咲き競い、初秋の園内を彩ります
入園料 一般1600円、中学生以下1100円
問 0120・1187・38



昨年の展示の様子

ぐんま天文台「たかやま観月会」*

日 9月14日(土) 午後7時～9時30分
所 県立ぐんま天文台(高山村中山)
内 月見は古くから続く年中行事の一つです。月見にまつわる話を聞いたり、大型双眼鏡で月を観望したりして、月見を楽しみます

*観覧料がかかります
観覧料 一般1300円、大学・高校生1200円、中学生以下1100円
申し込み方法 当日、会場に直
他 歩行が困難な人は、当館の駐車場と会場の間を送迎します。駐車場トイレ横のインターホンでご連絡ください
問 0279・70・5300

土屋文明記念文学館「紙芝居フェスティバル」

日 9月16日(月) 午後1時30分～3時50分

所 県立土屋文明記念文学館(高崎市保渡田町)
内 複数のボランティア団体が、館内2会場同時に紙芝居を上演します。また紙芝居実演家・菊池好江による実演なども行います

*無料
申し込み方法 当日、会場に直
問 027・373・7721

近代美術館企画展示「没後70年 森村西三とその時代」*

日 9月21日(土)～11月10日(日) 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
休 月曜日(9月23日、10月14日、28日、11月4日を除く)、9月24日、10月15日、11月5日(いずれも火曜日)

所 県立近代美術館(高崎市綿貫町)
内 高崎の白衣大観音像の原型を手掛けた、本県出身の鍍金工芸家・森村西三の動物の置物や花瓶、肖像などを一堂に集めた展覧会です
観覧料 一般1820円、大学・高校生1410円、中学生以下1100円
問 027・346・5560



「鍍金鳳凰香炉」(1929年) 個人蔵



「鍍金鯉置物」(1948年) 伊勢崎市教育委員会蔵



「青銅置物みみずく」 個人蔵

県民リポーターだより

増田勝弘さん(前橋市)

群馬には魅力的な山・湖・温泉・寺院など、観光スポットがたくさんあります。榛名湖と一緒に楽しめる榛名神社を紹介いたします。榛名山の中央にある榛名湖から南西に約4km下ると、左側に関東屈指の神社の一つ、榛名神社があります。1400年の伝統を誇り、権現造りの本殿をはじめ国の重要文化財や建造物、天然記念物などが境内や参道に数多くあります。途中にある千本杉の参道は、真夏でも冷気が爽やかで、樹齢



榛名神社参道

歴史博物館企画展「ハート形土偶 大集合!!」*



右:重要文化財 ハート形土偶 東吾妻町郷原出土 個人蔵(東京国立博物館保管) 画像提供:東京国立博物館 Image:TNM Image Archives
左:国宝 仮面土偶 長野県中ツ原遺跡出土 茅野市蔵(茅野市尖石縄文考古館保管)

日 9月28日(土)～12月1日(日) 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
休 月曜日(10月14日、28日、11月4日を除く)、10月15日、29日、11月5日(いずれも火曜日)

所 県立歴史博物館(高崎市綿貫町) 東吾妻町で出土したハート形土偶が65年ぶりに群馬に帰ってきました。また縄文土器に初めて芸術性を

見出した、岡本太郎の作品も展示します
観覧料 一般1600円、大学・高校生1300円、中学生以下1100円
問 027・346・5522

館林美術館「ピカソ展」* 「ルニカ」* 「タピスリ」* 「めぐる」*

日 10月5日(土)～12月8日(日) 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)
休 月曜日(10月14日、28日、11月4日を除く)、10月15日(火)、11月5日(火)

所 県立館林美術館(館林市日向町) 20世紀を代表する芸術家・パブロ・ピカソの大作《ゲルニカ》を原寸大に織ったタピスリを中心に、関連作品や資料を通して《ゲルニカ》の意味と背景、ピカソ芸術について考えます
観覧料 一般1820円、大学・高校生1410円、中学生以下1100円
問 0276・72・8188

知事の活動を配信中!

山本知事の記者会見をライブ配信する他、日々の活動を県公式ツイッター、フェイスブックなどで配信しています。詳しくは[HP](https://www.pref.gunma.jp/chiji/index.html)をご覧ください

[HPhttps://www.pref.gunma.jp/chiji/index.html](https://www.pref.gunma.jp/chiji/index.html)

※右図から読み取れます



イベント情報

※「ググっとぐんま公式サイト」(https://gunma-dc.net/)などに掲載されているイベントの一部を紹介いたします。詳しくはお問い合わせください
※内容が変更になることがありますので、お出掛けの際はご確認ください

名称	日程・時間	会場	内容	費用	問い合わせ先
御殿のお月見会	9月13日(金) 午後5時30分～8時	国指定名勝楽山園(甘楽町小幡)	ライトアップした夜の楽山園を楽しめる特別な日です。「宵街縁日」や望遠鏡による天体観測も行います	一般=300円、 中学生以下=無料	甘楽町教育委員会 ☎0274-74-3131 F0274-74-4685
沼田花火大会	9月14日(土) 午後7時～7時45分	沼田市運動公園(沼田市碓田町)	最先端の音楽花火パフォーマンスを織り交ぜた、1万発以上の打ち上げ花火が間近で見られる迫力満点の花火大会です	無料	沼田花火大会実行委員会 ☎0278-23-1137 F0278-24-0715
中之条ビエンナーレ	9月23日(月)まで 午前9時30分～午後5時	イサマムラ(旧伊参小学校)(中之条町五反田)他	国内外で活躍するアーティストが集まり、温泉街や木造校舎など、街中の至る所に現代美術作品が展示されます	一般=1500円、高校生以下=無料	中之条ビエンナーレ事務局 ☎0279-75-3320 F0279-26-2230

おたよりコーナー



読者アンケートへの回答はがき・メールを紹介します

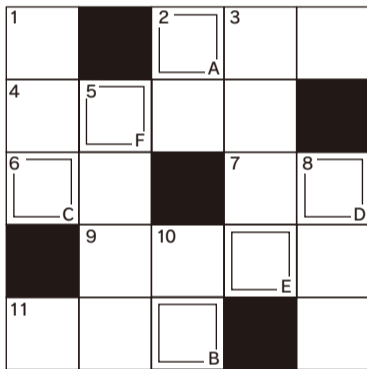
◆「ぐんまスーパーキッズプロジェクト」を通し、子どもたちがスポーツに親しめる機会が増えることは素晴らしいことだと思います。子どもたちが夢を持ち、それに向かって頑張るきっかけになればいいなと思います。
(伊勢崎市 57歳)

◆ヘルプマークとヘルプカードの交付は、私のように見た目では分かりづらい、在宅で医療を受けている者としてはとてもうれしいです。本当に支援が必要な人が手助けしてもらえるよう、正しく活用されることを願っています。
(昭和村 39歳)

※掲載された人には、ぐんまちゃんのぬいぐるみをプレゼントします

クロスワードパズル

正解者の中から抽選で「県有施設の無料ご招待券(2枚組み)」などを各5人にプレゼントします



答え:A～Fを順番に並べると?



たてのかぎ

- 1 道が交わる所に面している土地
- 2 本物に見せかけた物。○○物
- 3 胸のすくような優れた行い
- 5 商品が完売すること
- 8 物事の組み立てられ方、構造
- 10 マッチなどに含まれる物質。元素記号P

よこのかぎ

- 2 動物や魚を煮出してできる物質。接着剤として使われる
- 4 名字が同じこと
- 6 ほこり。○○も積もれば山となる
- 7 囲碁や将棋を職業とする人
- 9 物事に立ち向かう精神力
- 11 店先に掲げる布

応募方法 はがき、ファクス、Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。

①パズルの答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名(ふりがな) ⑤年齢 ⑥今月のぐんま広報へのご意見・ご感想 ⑦希望の賞品名を書いてください(Eメールは件名に「クロスワードパズル9月」と記入してください)

応募先

- ・はがき 〒371-8570 広報課クロスワードパズル係
- ・ファクス 027-243-3600
- ・Eメール crossword@pref.gunma.lg.jp
- ・電子申請(URLが変わりました) https://s-kantan.jp/pref-gunma-u/

※右図から読み取れます
応募期限 9月11日(水) 消印有効
※ファクス、Eメール、電子申請は11日送信分まで
賞品 次の中から希望のものを一つ明記してください
近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、カネコ種苗ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ぐんまちゃんトートバッグ、ぐんまちゃんグッズ、ザスパクサツ群馬(10月27日カタールレ富山戦)、群馬クレインサンダーズ(今シーズンホームゲーム共通)、群馬交響楽団定期演奏会(11月23日)
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます



編集室だより

私は今まで身近に認知症の人がいなかったため、漠然と怖いイメージがありました。しかし症状について詳しく聞いたりカフェで生き生きと話す人たちの姿を見たりして、考えを改めさせられました。認知症の人と共にみんなが安心して暮らせる社会にできたら良いと思いました。まずは近所で困っている人がいたら、勇気を出して声を掛けてみようと思います。
(見城)

広告の内容に関する一切の責任は、広告主に帰属するものです。この広告内容を県が推奨・保証等するものではありません